



しほろ議会だより

令和5年5月 No. 188 ■発行／士幌町議会
■HPアドレス <https://www.shihoro.jp/assembly/>

Q しほろ議会

検索



Contents

- ・新たな議会構成でスタート！！…… 2～3ページ
- ・令和5年第1回定例会
条例の制定・改正、補正予算 ほか …… 4～5ページ
- ・一般質問に3名が登壇…………… 6～8ページ
- ・予算審査質疑…………… 9～12ページ
- ・議会の出来事…………… 13ページ
- ・委員会調査報告…………… 14～15ページ
- ・かけ橋「初めまして」
士幌郵便局 局長 澤村 泰範さん …… 16ページ

**新しい議会がスタート！
議長・副議長を選出
各委員会構成が決定**



委員
成田 哲也



委員
曾我 弘美



委員
山中 明裕



委員
秋間 紘一



副委員長
伊藤 健蔵



委員長
森本 真隆

◆総務文教常任委員会



委員
牧野 圭司



委員
中村 貢



委員
大西 米明



副委員長
西山 伸宏



委員長
矢坂 賢哉

◆産業厚生常任委員会



委員
森本 真隆



委員
矢坂 賢哉



委員
中村 貢



副委員長
曾我 弘美



委員長
大西 米明

◆議会運営委員会



委員
西山 伸宏



委員
山中 明裕



委員
中村 貢



副委員長
牧野 圭司



委員長
伊藤 健蔵

◆議会広報特別委員会

新たな議会構成でスタート!!

5月12日、初議会に12人の議員が登庁 議長に河口和吉議員、副議長に中村貢議員を選出

町議会議員選挙が任期満了により4月18日に告示され、立候補者が定数を超えたため、選挙により12名の議員が決まりました。新人議員3名を含む12名の議員の任期は、令和5年5月1日から令和9年4月30日までの4年間となります。

5月12日には、初議会となる第2回臨時議会が開かれ、正副議長が選出されたほか、2常任委員会、議会運営委員会などの議会構成が決定しました。

就任のごあいさつ



副議長 中村 貢



議長 河口和吉

町民の皆様には、日頃から町議会の運営に對しまして、深いご理解と温かいご協力をいただき、心から感謝申し上げます。このたび、5月12日に開催されました臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄であるとともに、改めて職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。もとより微力ではありますが、

これまで培ってきた経験を活かし、町政の発展と、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいれる所存でございます。町民や事業者の皆様への安全・安心な暮らしを守るために、幅広い世代の声に耳を傾けながら、課題の解決に向けて議論を尽くし、町政に反映させていくことが町議会の重要な役割であると考えております。国際情勢の変化やコロナ禍における生活様式の変化がある中においても、歩みを止めることなく、全議員が一丸となり、町民の皆様へ寄り添った議会運営を進めてまいりますので、今後とも、町議会に對しまして、皆様により一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

議長 河口 和吉
副議長 中村 貢

各委員会等の所管事項

◆総務文教常任委員会

町税、財政や出納、町有財産、交通防災、学校教育、社会教育、選挙管理委員会、公平委員会、監査に関する事務などの案件を調査し、併せてそれらに必要な調査研究を行います。

◆産業厚生常任委員会

農林産業や商工業、土木および建築、簡易水道ならびに下水道、保健衛生、国民健康保険、失業対策、その他町民生活安定に関する事務などの案件を調査し、併せてそれらに必要な調査研究を行います。

◆議会運営委員会

議会の日程調整や議会の運営およびそれに関わる諸規則を調査研究するなど、議会の運営に関する一切の事項を協議します。

◆議会広報特別委員会

町議会の活動実態を公正に町民に知らせる町民の自治行政の推進を図るため、定期的に町議会広報紙を発行しています。

◆監査委員

監査委員のうち、議会から選任される委員を町長から提案され、同意をします。

◆一部事務組合議会議員

事務の処理や施設を合理的に運営するため、他の市町村と共同で行う一部事務組合の議会議員を選出しています。

令和5年度一般会計ほか6特別・1事業会計

前年度対比微増の予算、総額117億円

議案27件を原案どおり可決

令和5年

第1回

定例会



定例会本会議場（3月3日）

第1回定例会が、3月3日から9日までの会期で開会。

初日は行政報告、教育行政報告、町政および教育行政執行方針ほか監査報告（例月出納検査報告）、各常任委員会の所管事務調査報告を行い、7日は、3人の議員が一般質問に登壇した。

令和4年度補正予算7件、人事案2件、条例案12件を審議後、令和5年度予算審査特別委員会を設置し、9日まで予算審査を実施。9日には、本会議を再開し、一般会計他6特別会計および1事業会計の歳入歳出予算の審査を行い、全ての議件を原案どおり可決し閉会した。

人事案

【固定資産評価審査委員会委員の選任】

任期満了により、山田英寿氏、廣長悦治氏の選任に同意

【人権擁護委員の推薦】

任期満了に伴い、山中雅弘氏の後任として、金森秀文氏の推薦に同意



【金森 秀文氏】

条例の制定・改正

【行政組織及び事務分掌の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例案】

土幌町課設置条例の改正により、関係条例を整備

【土幌町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例案】

町民の利便性向上や行政運営の簡素化・効率化に資することを目的に、町が行う各種申請や届出等の行政手続きについて、

オンライン実施を可能とするため、条例を制定

【土幌町個人情報保護法施行条例案】

個人情報保護の保護に関する法律の改正により、土幌町個人情報保護法施行条例を制定

【土幌町情報公開条例及び土幌町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例案】

個人情報保護の保護に関する法律の改正により、条例を改正

【土幌町手数料徴収条例の一部を改正する条例案】

郵便等による請求可否の区分の廃止および町民に限り、書類の送付に要する費用を徴収しないことにより自治体DXを推進するため、条例を改正

【土幌町鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案】

町LINE公式アカウントにおいて、印鑑登録証明書の発行を行うため、条例を改正

【土幌町学校給食センター設置条例の一部を改正する条例案】

【土幌町農畜産物加工研修施設設置条例の一部を改正する条例案】

利用料金の見直しを行い、施設の利用促進を図るため、条例を改正

【土幌町地域生活支援事業の実施に関する条例の一部を改正する条例案】

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正により、条例を改正

【土幌町国民健康保険条例の一部を改正する条例案】

健康保険法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、出産育児一時金の支給額が40万8千円から48万8千円に変更されたことを踏まえ、条例を改正

【土幌町議会の個人情報の保護に関する条例案】

個人情報の保護に関する法律の改正により、土幌町議会の個人情報の保護に関する条例を制定

【土幌町議会委員会条例の一部を改正する条例案】

令和5年度予算の
主要施策概要

一般会計予算額は76億7700万円で、前年度に比べ8億9000万円、13・1%増、肉付け予算となった5月補正後との比較では2億2590万円、3・0%増となった。

令和5年度は、学校給食の完全無償化事業をはじめ、認定こども園、こども発達相談センターの建て替えに伴う新築工事基本設計事業、しほろ温泉プラザ緑風の再整備設計事業、公営住宅の建て替え事業や公共施設照明のLED化など、子育て関連事業を中心に交流、移住、定住関連事業など第6期づくり総合計画、



町政執行方針を述べる高木町長

第7期行政改革推進大綱の確実な実施に向け、第2期土幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の関連事業を盛り込んだ予算編成となった。

令和5年度の力点事業

- LED照明器具工事（町有施設外灯、総合福祉センター、国保病院） 8238万円
- 地域少子化対策重点推進交付金結婚新生活支援事業【拡充】 330万円
- 高齢者等移動支援事業助成（市街区域外の運転免許証不保持高齢者等へのタクシー補助事業） 560万円
- 町づくり共同推進事業・パートナーシップ推進事業 1279万円
- 認定こども園新築工事基本設計委託事業 700万円
- 高等学校等修学支援金給付事業（基準所得世帯に学費の一部を支援） 500万円
- 予防接種事業【拡充】（带状疱疹ワクチンを追加） 2425万円

- 土地改良事業基盤整備 2億8223万円
- 多面的機能支払事業保全隊補助（町内全9地区） 1億4452万円
- 移住促進事業補助金【拡充】（賃貸住宅家賃への助成を追加） 318万円
- 住宅リフォーム費用助成事業【拡充】（上限額の増額） 310万円
- プラザ緑風再整備設計委託事業 2222万円
- ピア21しほろ施設設備改修工事 2378万円
- 町道整備事業（5路線）、橋梁長寿命化ほか 2億4000万円
- 公営住宅整備事業（中土幌新南団地建替） 8983万円
- マイホーム建設支援事業 1000万円
- 小・中学校給食費無償化事業 2722万円
- アクティブライフフィットネス事業（介護予防運動教室） 444万円
- 簡易水道整備事業 7990万円

第1回定例会で審議・可決等された案件

報告	結果
行政報告	結果 賛・反
町政執行方針	
例月出納検査報告	了承
条例の制定・改正	結果 賛・反
行政組織及び事務分掌の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例案	可決 全員賛成
土幌町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例案	可決 全員賛成
土幌町個人情報保護法施行条例案	可決 全員賛成
土幌町情報公開条例及び土幌町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例案	可決 全員賛成
土幌町手数料徴収条例の一部を改正する条例案	可決 全員賛成
土幌町学校給食センター設置条例の一部を改正する条例案	可決 全員賛成
土幌町農畜産物加工研修施設設置条例の一部を改正する条例案	可決 全員賛成
土幌町地域生活支援事業の実施に関する条例の一部を改正する条例案	可決 全員賛成
土幌町国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決 全員賛成
土幌町議会の個人情報の保護に関する条例案	可決 全員賛成
土幌町議会委員会条例の一部を改正する条例案	可決 全員賛成
固定資産評価審査委員会委員の選任について	結果 賛・反
人権擁護委員の推薦について	同意 全員賛成
一般会計	結果 賛・反
国民健康保険事業特別会計	可決 全員賛成
後期高齢者医療事業特別会計	可決 全員賛成
介護保険事業特別会計	可決 全員賛成
介護サービス事業特別会計	可決 全員賛成
簡易水道事業特別会計	可決 全員賛成
公共下水道事業特別会計	可決 全員賛成
国民健康保険病院事業会計	可決 全員賛成
令和4年度各会計補正予算	結果 賛・反
一般会計（第11号）	可決 全員賛成
国民健康保険事業特別会計（第4号）	可決 全員賛成
介護保険事業特別会計（第4号）	可決 全員賛成
介護サービス事業特別会計（第5号）	可決 全員賛成
簡易水道事業特別会計（第4号）	可決 全員賛成
公共下水道事業特別会計（第4号）	可決 全員賛成
土幌町国民健康保険病院事業会計（第5号）	可決 全員賛成
意見書	結果 賛・反
食料安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産経営の安定を求める要望意見書	可決 全員賛成

一般質問に3名が登壇

町民の声を町政に・町政のここが聞きたい

伊藤 健蔵 議員 ➡ 男女共同参画の目標達成に向けて

矢坂 賢哉 議員 ➡ 旧小学校閉校跡地の利活用について

大西 米明 議員 ➡ ①町内のケアラー(無償介護者)の現状は
②令和5年度予算案について

3月定例会では3人の議員が一般質問に登壇し、理事者の考えを問いました。
内容を要約してお知らせします。全文については議会ホームページに掲載(6月予定)します。

女性の社会進出の促進を

女性登用率30%の目標達成を目指す



【伊藤 健蔵 議員】

質問

本町では、平成18年に第1期士幌町男女共同参画基本計画を策定し、5年ごとの計画の見直しを経て現在第4期目である。基本目標である審議会等への女性の登用率30%に対し、令和4年では22・5%となっているが目標達成の方策を伺う。

高木町長答弁

計画策定当初の平成18年には15・1%であった登用率が、平成31年には24・5%と順調に登用促進が図られてきた。しかし、近年女性の構成割合

の高かった協議会の廃止等の影響から令和4年4月の時点では22・5%にとどまっている。今後については、委員の任期満了を迎える審議会等の積極的な女性の登用を促進するなどの取組を全庁的に進めたい。

質問

女性登用率の対象となっているのは、34の審議会・組織だが、本町の基幹産業である農業分野に於いては関連7組織の女性登用はゼロである。本年改選期となる農業委員会の委員は一番多い14人だが、一般公募による委員枠への登用や、ほかの審議会によつては組織代表や学識経験者だけでなく、町長が選任できる枠があるところもある。ぜひ町長はこれらの枠にとらわれず、機能を最大限に生かして女性に登用する努力をしていただ

きたい。
また、この登用率の基礎となっている組織は、地方自治法に基づく審議会等となっているが、女性の社会進出はこの枠にとらわれず身近な委員会、町内会長や公民館長などの積極的な参加を促し、社会で活躍していただけるような啓蒙をしてはどうか。

高木町長答弁

農業関係基金の審議会では、関係団体からの推薦による委員の委嘱をしているが、役員自体に女性がないという実態であることもご理解いただきたい。それ以外の審議会等においては、団体からの推薦や公募、私からの委嘱という部分もあるが、各地区公民館から推薦をいただくケースなどにおいて、積極的に女性を推薦していただくような取り組みや、男女共同参画の普及啓蒙を進める中で、登用率30%の目標に近づけて行きたい。

企業誘致には地域への情報開示を

地域への説明、情報は適切な時期に行う



【矢坂 賢哉 議員】

質問

本町は、平成27年から5年間で5つの小学校が閉校となり士幌小学校に統合された。閉校跡地は、北中音更小学校以外で活用されていないが、現在までの取り組みと経過・現状を伺う。

高木町長答弁

閉校となった校舎の利活用は、各公民館の要望を聞きながら地域振興、産業活性化を目的に文科省や道のホームペー

質問

課題であった通信面は解消されたが、企業誘致には地域や住民への情報開示や合意形成が必要である。開基基準等があれば伺う。

高木町長答弁

地域住民への情報の開示、合意形成については、企業側からの提案はあったが、地域住民へ相談する段階までの事

質問

廃校活用をチャンスと捉え有効策を検討して欲しい。旧小学校は、これまで多くの士幌っ子を育み、地域の拠点として愛されてきた大切な財産である。町長の目指す農村ユートピア2世紀の象徴として、旧小学校跡地利活用のこれからを伺う。

高木町長答弁

閉校した小学校は、いずれも農村地域に存在しており、その中で農業・農村の有する多面的機能というものが評価されている。旧小学校施設においては、光回線を活かした企業誘致、コロナ禍で注目されたサテライトオフィスの利用などを含め、移住定住、関係人口、交流人口の拡大で、真に豊かな農村、そして農村ユートピアの実現に資するよう、活用に努めたい。

ケアラーの相談窓口設置は

保健福祉課を相談窓口とし最大限に活用する



【大西 米明 議員】

質問

在宅で介護するケアラーは、公的制度だけでは十分に支援できず、社会的に孤立し、心身の健康を損なうケースが珍しくない。とりわけ18歳未満のヤングケアラーの現状はどうなっているのか伺う。

高木町長答弁

ケアラーとは、介護や看病・療育が必要な家族や近親者を無償でサポートする人とされ、18歳未満はヤングケアラーと呼ばれる。

令和3年8月に、中学校2年生と高校2年生を対象として、道が実施した調査では、

士幌町において該当者はなく、関係機関による調査でも確認されなかった。
しかし、相談できないケースも考えられるので「きつかけ・サイン」を見逃さないよう教職員や関係機関で情報共有し、発見した場合は、相談支援や福祉サービス等へ繋ぐ、身体的・精神的負担の軽減を図る。

質問

アンケート調査で正確に把握できたか疑問である。相談できない方をいかに把握するかが問題で、道はヤングケアラー支援条例の制度をつくり、相談窓口としてサポートセンターを設置、同時に3振興局41市町村で支援の窓口を設置したが、士幌町は窓口開設の考えがあるか伺う。

高木町長答弁

本町では、保健福祉課が相談窓口となっており、その機能を最大限に活かして対応していく。

学校生活での子どもの変化を見つけ、相談にあたることが重要と考える。

質問

子どもは、自分から言い出

町長のカラーを出した
予算編成か

真に豊かな農村しほろを目指した編成



【大西米明 議員】

質問

令和5年度の予算案は、高木町長初の本格的予算になるが、町長独自の予算があれば伺う。

せないで、ヤングケアラーに特化した窓口を開設すべき。また、条例制定や職員や教職員の研修も必要と考える。

高木町長答弁

発見し、気づくかは非常に重要である。知識や情報を共有し、サポートするために、研修を進めていく。

高木町長答弁

観光関係では、しほろ温泉プラザ緑風の再整備設計事業に2222万円、道の駅ピア21しほろではチャレンジブース移転工事・ひさし設置工事に2378万円を計上。住環境・移住・定住関係では住宅リフォーム費用助成事業の助成内容を拡充し、助成上限額10万円を20万円に改め310万円を計上、転入費用に係る

仲介費用の一部助成に加え、定住スタート応援事業として賃貸住宅家賃への助成を新たに追加し、移住促進事業補助金に318万円計上。子育て支援として小中学校の児童生徒に係る給食費の完全無償化を図るため2722万円、認定こども園および子ども発達相談センター改築整備に向けた基本設計経費920万円を計上。福祉・健康づくり関係では生活支援体制整備事業を800万円に増額、新たに带状疱疹ワクチン接種事業に87万6千円、消防庁舎の感染症対策施設整備費として3400万円を計上。その他エキノコックス対策として駆虫剤散布と調査で56万円、予算計上は令和6年度からとなるが奨学金返済支援事業をスタートさせる。持続可能なまちづくりの推進では、本町のふるさと納税関係において、当初予算で初の5億円を計上し、令和4年度より開始した企業版ふるさと納税を含めた寄附実績の着実な増加を図るだけではなく、士幌の魅力を発信するツールとしても活用

し、さらなる地域好循環を目指す。

質問

学校給食の完全無償化は所得制限を設けるのか、合わせて財源の確保はどのように行うのか伺う。

高木町長答弁

所得制限を設けずに無償化とし、ふるさと納税でいただいた寄附を財源として実施する。

質問

带状疱疹ワクチン接種事業が新たに予算化されているが、町内のニーズがどの程度あるのか伺う。

高木町長答弁

带状疱疹は、50歳以上になつてから発症が増え、80歳までに3人に1人が発症をするといわれており、ワクチンによる予防が可能であることから接種の助成を行う。

藤村保健福祉課長答弁

町民からの要望は、令和4

旧北中小学校付近の
事故対策は

曾我委員

旧北中小学校付近の木を伐採し、見通しがよくなったが依然事故が多い。今後の対策について伺う。

吉川町民課長

事故の多い交差点は両方向とも道道で、手押し式信号機が設置されているが、一時停止側にはない。警察に要望しているが移設されない。看板も十分に設置しているが、今後も関係機関と良策を協議していきたい。

ドローンの更なる
有効活用を

牧野委員

町では、ドローンを何台所有し、どういった目的で使っているのか伺う。

河田総務企画課主幹

1台所有し、災害時や行方



町が所有しているドローン

ラジオ広告の詳細
について

大野委員

ラジオによる広告として予算計上されているが、詳細な説明を。

不明者発生時に検索で使っている。

牧野委員

今後、ドローンをどのように活用するのか伺う。

西野総務企画課長

基本は災害対応で使用するが、撮影機能もあるのでさまざまなことで使用を検討したい。

予算審査質疑

令和5年度一般会計ほか6特別会計・1事業会計

予算とは、町の1年間の収入と支出の計画で、毎年3月に行われる第1回定例会に、町より議案として提出されます。町議会では、より慎重な審査を行うことを目的に、予算審査特別委員会（加藤宏一委員長）を設置し、各会計予算について集中的に審議を行いました。質疑の一部を要約してお知らせします。

一般会計

総額76億7700万円

総務費

パートナーシップの
表現を変更しては

伊藤委員

パートナーシップ事業という言葉は、近年ではLGBTQカップルに使われる言葉で定着しているので変更してはどうか。

西野総務企画課長

「」指摘を踏まえた上で、検

クラウドPBXの
運用効果について

森本委員

クラウドPBX（※）の現状と本格運用時期を伺う。

渡辺総務企画課担当主査

庁内のLAN配線工事は年度内に執行。クラウド化は見積依頼を発出中でその後契約締結し、ゴールデンウィーク明け頃に運用開始予定。

森本委員

今までと比較し、どの程度

渡辺総務企画課担当主査

今までは、電話交換機を使用していたが、10年毎に1台あたり1100〜1300万円の経費が掛かっていた。クラウド化を図ることにより初期経費は掛かるが、20年間使用した場合、約850万円の経費節減が見込まれる。

森本委員

今回の導入を検証し、効果があれば、クラウド化していない公共施設も整備するようには。

西野総務企画課長

今後の更新時期を見据え導入効果を検証し、検討する。

クラウドPBX：インタ

ーネットを使った電話回線サービスで、異なる場所にあるオフィスや社用スマホで、会社の電話番号宛てにかかってくる外部からの電話を受けたい、内線でないたりするこ

年度に4件あった。本町では、1年間で50歳以上の方の約35人が発症し、そのうち2割（7人）の方が3か月以上痛みが続く、带状疱疹後神経痛になることが予想される。

大西議員

こういった予算を作ったときはずいぶんPRすべき。今後とも小林町長からの継承をするものもあると思うが、時代のニーズに合わせて町長のカラーを出して予算編成していただきたい。



※アプリは無料ですが、アプリのダウンロードや情報の受信には、通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

西野総務企画課長

FMノースウェーブのラジオ番組への協賛で、土幌町の情報発信やイベントを番組内で放送し、町のPR強化を目的としている。実施期間は令和5年度1年間である。

大野委員

町公式LINEでもラジオ放送について周知していただきたい。

地域少子化対策重点
推進交付金について

矢坂委員

地域少子化対策重点推進交付金の予算が倍増されているが詳細を伺う。

坂井総務企画課主幹

国の制度拡充によるもので、一点目が婚姻日年齢39歳以下の方は所得要件が400万円から500万円未満に拡充。二点目は交付額の上限で、夫婦ともに29歳以下の方は30万円の上限だったものを1世帯

60万円に拡充し予算を増額した。

記録映像撮影でも
ドローンの活用を

森本委員

記録映像制作委託料について詳細を伺う。

坂井総務企画課主幹

この委託料は、開町100周年の際に予算化したもので、今まで文字による記録はあったが、映像媒体がないことから予算化した。使用目的は、次の記念周年時に使用するために、毎年記録として撮りためていく。

森本委員

事業は、委託ということであるが、町のドローンを活用してはどうか。

西野総務企画課長

町が保有するドローンの更なる活用も含め、検討する。

移動期日前投票所の
受付について

矢坂委員

移動期日前等投票所の業務委託料が計上され、今回の統一地方選挙から活用されるが、現在までの申込みの詳細を伺う。

西野選管事務局長

今回の知事道議選、町議選で委託料を計上したが、3月10日までの申込期限で9人から申込みがあった。

矢坂委員

締切りをもう少し延長してはどうか。

西野選管事務局長

今後も申込みがある可能性があるが、ある程度で人数を確定し日程を組みたいのをご理解いただきたい。

大西委員

町議選の告示日近くまで申込みを延長すべき。

西野選管事務局長

知事選・道議選のあと2週間あくので、町議選に向けて申込みの調整をしたい。



移動期日前投票所

民生費

子ども食堂への
助成について



しほろポテト食堂

伊藤委員

子ども食堂支援事業助成金は、事業実施型なのか伺う。

角田子ども課長

1事業30万円を上限として助成している。事業内容は食事の提供を月1回実施する程度で考えている。

衛生費

地域医療アドバイザー
の役割は

中村委員

地域医療アドバイザーの報酬として20万円計上しているが、内容について伺う。

高木町長

地域医療アドバイザーは、病院の経営状況をみていただき、経営改善を進める中でさまざまな相談をさせていただいている。

労働費・農林業費・
商工費

労働費・農林業費・
商工費

駆虫剤散布の拡大を

牧野委員

エキノコックス対策として駆虫剤を散布する範囲について伺う。

藤内産業振興課長

調査は、町内全域でのキツネの糞を採取し、エキノコックスに感染しているキツネは何%いるのかを調査し、春から半年間（6回程度）に駆虫剤を散布してエキノコックスに感染したキツネが何%に減ったのか調査をする。

牧野委員

駆虫剤散布の効果はあると報道でも取り上げている。また市街地でもキツネが出没しているので、町民の安心・安全を考える上でも、しっかりと対策を行っていただきたい。

藤内産業振興課長

調査の結果を踏まえて、次年度に向けた実施を検討する。

エキノコックス症検診のお知らせ	
8月1日（火）	13：00 下居辺地区集落センター 14：00 佐倉交流センター 15：00 上居辺総合地域施設 16：00 総合福祉センター
11月8日（水）	13：30 総合福祉センター
対象：小学校3年生以上の町民	
費用：小学校3年生から中学校3年生まで・・・無料	
高校生以上・・・300円	

町内業者へ継続的な
支援を

河口委員

商品券発行は、コロナ禍でプレミアム商品券発行は、町内の消費喚起で有効で、町内商店にもメリットが多かったが、効果について検証は行っているか伺う。

藤内産業振興課長

検証は行っていないが、商

消防費

防火水槽の
早期更新を

森本委員

老朽化している防火水槽はどのくらいあるのか伺う。

仙石消防課長

町内には、47基の防火水槽があり、50年以上経過している設備が13基ある。今後は、有利な補助や起債を利用して更新を計画している。

森本委員

計画的に予算計上し、少しでも早く危険を取り除くようにしていただきたい。

教育費

今後の青年組織
について

大野委員

連合青年団の組織体制で、大きな動きがあると聞いているが、詳細を伺う。

小野寺教育課長

連合青年団を組織する団体がなくならないで、組織の名称・規約について現在協議し、3月中には決まる予定である。

6特別会計

国民健康保険事業

総額10億4913万円

市町村税滞納整理機構
への負担金額について

大西委員

市町村税滞納整理機構に86万5千円を支出しているが、詳細を伺う。

吉川町民課長

一般会計と国保会計に分かれており、令和5年度の負担金として172万9千円のうち、国保分がその金額となる。

後期高齢者医療事業

総額1億1487万円

介護保険事業

総額7億6348万円

今後の生活支援対策整備事業は

河○委員

生活支援対策整備事業委託料は、どこに委託し場所はどこになるのか何つ。

藤村保健福祉課長

社会福祉協議会へ引き続き委託する。場所は、「もりのくまさん」の跡を借り受けて実施する。

河○委員

社会福祉協議会で実施している事業を移行するのか。

藤村保健福祉課長



ふれあいカフェ

回程度実施し、いつでも立ち寄っていたく目的で介護予防事業の推進を行う。

介護サービス事業

総額5億6192万円

特養の赤字削減について

大西委員

特養の赤字について、どの程度見込んでいるのか。

齋藤施設長

一般会計繰入金1億2441万9千円が赤字となる。

大西委員

先般、産業厚生常任委員会の調査で入所者が病院に長期入院した際、退所扱いとし、次の待機者を入所させてはどうかと報告をした。黒字経営に向けて、更なる努力が必要ではないのか。

高木町長

特養の長期入所は、107床あり、入所率を100%に近づけなければならないと考えている。そのためには、特養、

病院の両方の入所、退院という連携を行い、100%入所に近づけるよう努力したい。



特別養護老人ホーム ほほえみ

簡易水道事業

総額2億9764万円

公共下水道事業

総額1億5319万円

旧下水道施設の設備等売却について

河○委員

下水道施設費で国庫補助返還金が発生しているが、詳細を伺う。

上山建設施設担当課長

旧処理場の機器類、ケーブル類、電気計装類を撤去売却

し、その金額に補助交付率を乗じて236万5千円を返還。

河○委員

その売却収入はどこに表れるのか。

上山建設施設担当課長

令和4年度の収入として上がっている。

1事業会計

国保病院事業

総額11億4445万円

町立病院の病床稼働率について

大西委員

町立病院の病床稼働率が、半分程度なのはなぜか。

竹下病院院長

病床が埋まらないことに苦労している。その理由の一つとして逆紹介がないことが原因と考えている。

逆紹介は、急性期の治療終了後、専門的治療を必要としなくなった場合に地元の病院

への転院を勧めることで、今後は基幹病院へ働きかけ、病床稼働率を上げる努力をしていきたい。

大西委員

病床稼働率が低いのは、ほかの理由がある。それは3か月の入院後、退院しなければならぬという町民意識がまだにあるからではないか。

竹下病院院長

現在はそういったことはなく、各施設と病院が連携し対応している。

福田総看護師長

国の施策で地域包括ケアシステム構築が打ち出され、「とぎどき入院、ほぼ在宅」が推奨されている。また、日本看護協会からも入院や在宅移行支援をスムーズに行うよう通達がきている。



土幌町国民健康保険病院

永年の功績を讃え

全国町村議会議長会表彰を受賞

第1回定例会初日の本会議開催前に、2月8日に開催された全国町村議会議長会定期総会において、秋間紘一議長および加藤宏一副議長が自治功労者賞を受賞し、表彰状の伝達が行われました。



秋間議長

▽議員として15年以上
平成19年5月1日～
令和5年2月7日（現在）

加藤副議長

▽議員として15年以上
平成19年5月1日～
令和5年2月7日（現在）

議会の傍聴をしてみませんか？

次年度の予算も
審議します

土幌町議会では、3月、6月、9月、12月に定例会が開催されます。そのほかに、必要に応じて臨時会も開催されます。

昨年度の決算も
審議します



臨時会

3月
定例会

6月
定例会

12月
定例会

9月
定例会

傍聴は、どなたでもできます！傍聴を希望される場合は、3階議場入口にある受付簿に住所・氏名を記入して、入場してください。

委員会調査報告

総務文教常任委員会

GIGAスクール構想における取り組みについて

◎調査期日および場所

令和4年7月12日（火）
土幌町総合研修センター
2階視聴覚室
令和4年11月17日（木）
高知県高知市議会委員会室
令和4年12月16日（金）
土幌町総合研修センター
2階視聴覚室

◎所感

「子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現」いわゆるGIGAスクール構想へ向けた機器の整備状況、および授業活用への進捗状況について所管事務調査を実施した。調査は、コロナ禍であったため、町教育委員会への聞き取りを主としたが、小・中学校のオンライン授業を視聴し、更には、ICT教育の先進地

として全国から注目を集めている高知県高知市教育委員会への視察を行った。

学校におけるICT環境の整備・運用について

GIGAスクール構想を実現するためには「1人1台端末の整備」と「校内ネットワーク環境の整備」は必須である。

本町では、令和2年7月までに児童・生徒・教員 計603台の端末機器（タブレット）を導入し、令和4年9月までに対象全校の高速通信環境整備を終えている。

ICT機器の運用方針については、土幌町教育研究所ICT推進部会が重要な役割を果たしている。

令和4年5月に設立された

この部会は、調査対象5校の教員と町教育委員会職員で構成され、日々現場で生じるICT教育の課題を持ち寄り、検証をし、解決策を示すとともに、部会教員はそれぞれの学校においてICT教育の中核的な役割を担い学校教員の指導能力向上に寄与している。

また、「土幌町情報活用能力の育成計画」を策定し各学年のICT学習の達成目標を明確に打ち出したことは評価できる。

教育委員会の取り組みでは、端末充電用アダプターを購入し、インターネット環境の無い家庭にはモバイルWi-Fiの貸出しを行っている。

これにより、全ての児童・生徒が自宅へ端末機器を持ち帰ることができ環境が整い、学びの保障に生かされている。

今後の取り組みと課題

令和5年度から、文部科学省CBT（コンピューター使用型の学力調査 システムMECXCBT（メフビット）による全国調査が開始される。メフビットの運用を開始す

るには、プラットフォームの機能を有する学習eポータルサイト（学習管理機能を備えたソフトウェアシステム）が不可欠で、導入後はメフビットを始めデジタル教科書やデジタル教材との連携が可能となる。

未来を担う土幌町の子ども達がGIGAスクール構想の恩恵を大いに甘受し成長していけるよう、ICT教育の更なる推進を図らなければならないことから以下の事項について検討されたい。

①端末機器の更新期間とOS（オペレーティングシステム）の選定について

端末機器の更新は、一般に5年と言われている。

現在使用している端末機器は、購入後3年が経過していることから、更新時期の分散と財源の確保を検討する必要がある。

また、現在はウィンドウズのOSを採用しているが、他社

の評価も見極めて最適なOSを選定すべきと考える。

②学習eポータルサイトの選定について

学習eポータルサイトの導入は、文部科学省が定める標準モデルの中から選定していくことになる。

児童・生徒の転校・教員の異動時の負担を考えた場合は、十勝管内で統一されることが望ましいが、それができない場合は管内の情勢を見極め、より多くの自治体で導入される学習eポータルサイトの採用を検討すべきと考える。



欠席者向け動画配信の様子



オンライン授業を視聴

③回線容量とセキュリティの確保について

デジタル教科書が導入される令和6年度には、調査対象5校の端末機器が同時に使用されることが想定される。

校内ネットワークの回線容量を常に確認するとともに、セキュリティは常に最新の状態を保持し万全な状態で運用されるべきと考える。

今後、ICT教育について更なる研鑽と実践を重ね、本町教育目標の達成に向け、町教育委員会と学校が一体となって努力されることを期待したい。

産業厚生常任委員会

町有施設の改修について

◎調査期日および場所

令和4年7月5日（月）
役場3階委員会室
令和4年11月25日（木）
役場3階委員会室
土幌高原ヌプカの里
令和4年12月22日（木）
役場3階委員会室

◎所感

（1）ヌプカの里

令和3年11月25日に現地視察を実施。

建設後30年近く経過する施設の老朽化について、担当職員および施設管理者から、「同施設が国立公園特別地域に位置し、大規模改修は厳しい状態にあることから、軽微な改修としてキャンプ場周辺を整備し、利用客の受け入れ環境の充実を目指す」との説明を受けた。

現状での大規模改修が難しい中では、軽微な修繕・工事を計画的に実施することが適当である。また、財政的な問

題もあり、既存施設の延命化を図り活用することが肝要と考える。

（2）プラザ緑風

平成13年にプラザ緑風が改築されてから20年を経過し、同施設の老朽化が著しい。

令和元年に改修構想が小林前町長より打ち出され、委員会では町民や利用者の意見を反映すべく、実施設計の策定前に協議・提言が必要と考え、所管事務調査を実施した。担当課から数回にわたり説明を受けたが、施設の現地確認や他町村の温泉施設の視察については、新型コロナウイルス感染症の流行により実現できなかった。

施設改修にあたり、担当課が町民や利用者を対象にアンケートを実施し、ニーズの把握に努めた。

その中で、現在のプラザ緑風の構造的な課題を改善するとともに人手不足に対応した

ローコスト、ローメンテナンスの施設づくりを目指し、令和4年11月に「土幌牛の活用」、「屋外空間の活用」、「新たな旅のスタイル」、「再生エネルギーへの取り組み」をコンセプトとした基本構想が完成した。

現在も健康増進施設や道の駅として多くの方々に利用されているが、改修後にはさらに利用者が増加するようキャンプ場など付帯施設の改修整備も計画されている。

今後、基本設計・実施設計を控え財源確保が急務であるが、予算確保が可能な限り早期着工を目指すべきであると考える。

今回の調査では基本構想までしか携われなかったが、今後も町民・利用者の声を届けるべく関与していきたい。

今後も、町有施設の改修は、町民・利用者を第一に考え行われることが重要であるが、再生エネルギーへの取り組みなど環境保護も



ヌプカの里を視察

「初めまして」



士幌郵便局

局長 澤村 泰範 さん
さわむら やすのり

このたび、前任の局長の定年退職により、4月1日付で士幌郵便局長として着任しました。

私は音更町生まれ、音更小学校、音更中学校、帯広三条高校、札幌大学を卒業し郵便局にて勤務している45歳です。小・中学生時代にはスケートと陸上、野球は小学生から継続していて、現在は帯広の朝野球チームに所属しています。帯広三条高校野球部時代はキャプテンを任されていたが、惜しくも行くことができませんでした。

家族は、妻と、19歳の娘と、17歳の息子4人家族ですが、子どもたちは親元を離れておりますので、現在は妻と2人暮らしです。

郵便局での経歴は、広尾郵便局を振出しに、足寄郵便局を経験し、川西郵便局で局長となり、音更大通郵便局長を経て、士幌郵便局長を拝命しました。

今年は、郵便制度が発足して152年目になりますが、士幌郵便局は開局100年を過ぎた歴史ある郵便局です。郵便局には、局番号がついていて、士幌局は91022、十勝で22番目に出来た郵便局です。ちなみに十勝1番は大津局91001、2番目は広尾局91002、3番目が帯広局91003と海岸線から内陸に入植してきた歴史がわかります。士幌町での勤務は初めてですが、町民の皆さまに顔を覚えていただき、皆さまに身近に感じてもらえる郵便

局にしていきたいと思っております。士幌郵便局の職員21名で、地域のために一生懸命努めますので、苦情相談は私まで、称賛は社員へ、ぜひともお声かけいただけるとありがたいです。また、コロナの状況にもよりますが、地域のイベント・行事にも積極的に参加していきたいと思っています。

士幌町は、自然豊かな農作物のおいしいところですので、しほろ温泉、士幌高原又プカの里へ自転車での散策や道の駅、飲食店巡りを楽しみたいと思っています。またポテトチップスも大好きなので、これ以上太らないように気を付けながらも自分用、贈答用にと購入したいと考えています。

この議会だよりが町民の皆さまと議会をつなぐ『かけ橋』になるようにと『かけ橋』欄があると聞いております。今回の寄稿を機に、郵便局が、町と議会、そして町民の皆さまとの『かけ橋』となり、より親しんでいただければ私も幸いです。士幌町のため精一杯努めていきたい

と思っておりますので、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



士幌郵便局